再発防止対策書

中国　支部

発生日時	２０２１年 ４月１７日（土曜日）　１７時４３分頃							天候	晴れ	
災害の程度	死亡　　名		負傷　1名		職種　索道工		年令43才		経験年数12年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			

災害の状況

［　件　名　］　索道架設中，左手中指がワイヤに挟まれ切断

［作業内容］　索道架設

［発生状況］

8:00　作業班長他２名は現地でＴＢＭ－ＫＹを行い，索道架設作業に着手した。

12:30　午後のＴＢＭ－ＫＹを実施し，作業着手した。

16:00　索道中間支柱組立のための台棒を地組後，支線４箇所へ牽引具を配置し，支線ワイヤを各所に延ばした。

17:20　被災者は起伏ワイヤを牽引具で巻き取り，台棒を起こした。台棒先端が地上約５ｍ程度起き上がった際に，立木の根元に支線ワイヤが掛かった。班長は支線ワイヤを巻いたが取り込めないため，ワイヤを緩めた。

17:30　被災者は，立木に移動し根元に掛かった支線ワイヤを手ではずした際に，台棒が横に振れ，ずれ上がったワイヤと立木の間に左手中指を挟まれた。

18:00　被災者は作業班長・作業員と一緒に自力で索道基地まで下山した。

18:05　救急車が到着し被災者を病院へ搬送した。

【被災の程度】

左中指指尖部切断（休業見込　１３日）

【被災の服装】

作業服（上下），安全帽，安全靴，作業用手袋

原因及び対策

【災害発生原因】

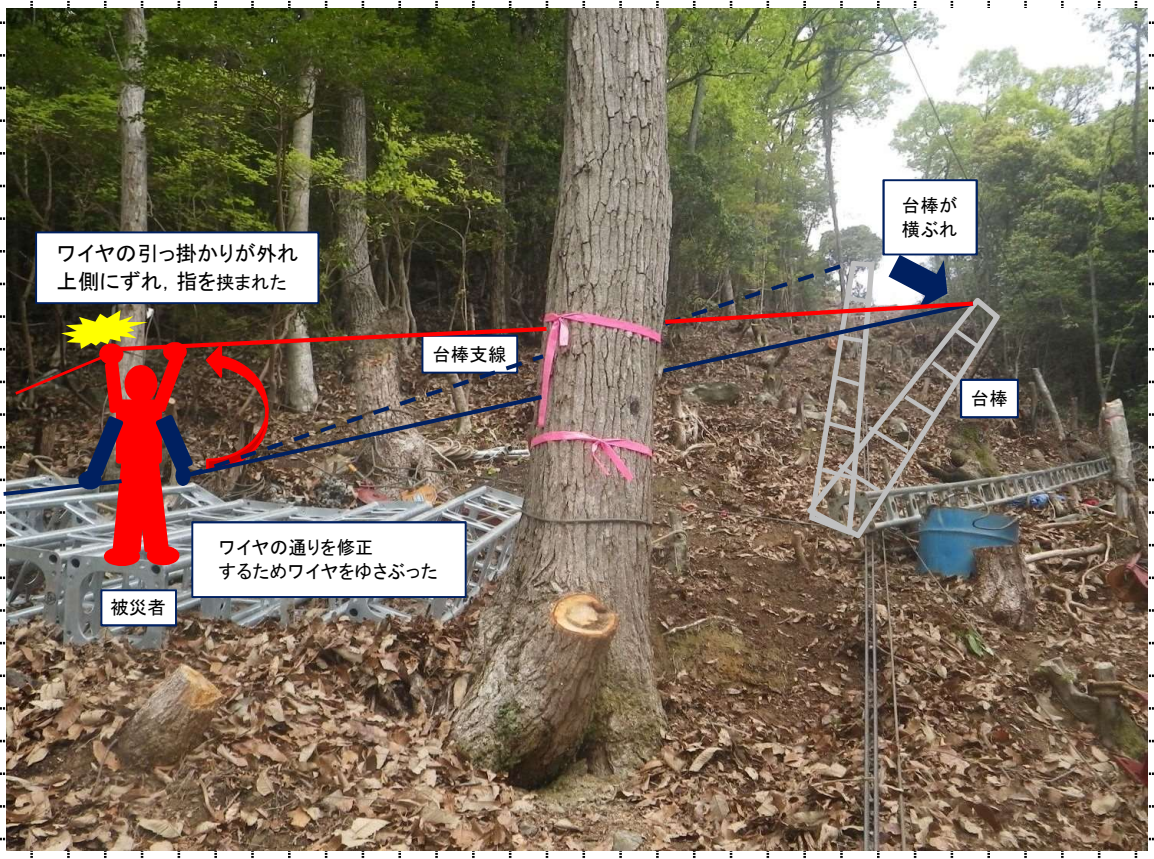
1. 台棒が傾くことで支線ワイヤに瞬間的に張力が加わり，ずれ上がる事例の教育・指導を受けたことがなかったため，支線ワイヤの挙動を予測した対応が出来なかった。
2. 支線ワイヤが立木等に掛かった際に安全に対処する方法を定めていなかったため，慣習に従い，台棒を固定せずワイヤの掛かりをはずす等安易な行動をとった。
3. 支線ワイヤの状態（通り，掛かり等）を確認せず，台棒建込作業を進めた。
4. 現場環境や作業内容に応じた適正な人員配置が出来ていなかった。
5. 索道中間支柱組立に伴う台棒建込作業における支線ワイヤの危険ポイントが，施工計画書に記載されていなかった。

【再発防止対策】

1. ワイヤロープを扱う作業にあっては，下記の事項を遵守する。
   - ・ウインチ類や牽引具により張力が加わったワイヤーロープは，点検等やむを得ない場合を除き，手で握らない。
   - ・吊り荷等の介錯が必要な場合は，保護具（手鉤・ロープ等）を用いる。
   - ・ワイヤロープが障害物に引っ掛かった場合には，作業を一時中断し，作業員全員で状況を確認したうえで，適切な措置を講ずる。なお，張力が加わった状態でワイヤロープを介錯すると，急な跳ね上がりや引張り等の予期しない挙動を起こすことがあるため，慎重に対処方法を検討する。
2. 索道支柱組立用台棒建込作業にあっては，以下の事項を遵守する。
   - ・索道支柱組立用台棒建込作業時は，支線ワイヤの状態を確認し，立木等に掛からないよう介錯する。また，支線ワイヤが立木等に掛かった際は，作業を一時中断し，作業員全員で状況を確認する。張力が加わっている支線ワイヤを直接手で握り介錯せず，現場の状況に応じて下記のいずれかの措置を講ずる。
     - ○補助具（ロープ等）により介錯し，支線ワイヤの掛かりをはずす。
     - ○支線ワイヤおよび起伏ワイヤの張力を緩め，台棒を地上に降ろした後，支線ワイヤの掛かりをはずす。
     - ○他の支線ワイヤ（仮支線含む）に張力を預けて，台棒の振れ止めを講じたうえで，支線ワイヤの掛かりをはずす。

（様式－2）

災　害　概　要　図


ワイヤの引っ掛かりが外れ
上側にずれ，指を挟まれた
台棒が
横ぶれ
台棒支線
台棒
ワイヤの通りを修正
するためワイヤをゆさぶった
被災者

被災者
台棒支線
ワイヤの通りを修正
するためワイヤをゆさぶった

台棒支線
ワイヤの引っ掛かりが外れ
上側にずれ，指を挟まれた
被災者
ワイヤと立木の間に
指を挟まれた